

# 道路関係事業

## 道路関係事業のポイント

### I. 既存ストックの有効活用～橋梁の長寿命化・耐震性向上に本格着手！

- 平成19年6月20日に斜材の破断が発見された国道23号木曾川大橋については、現在、補強工事を実施しています。



破断後の状況(H19.6.20破断発見)



補修後の状況(H19.7.28上り線補強完了)



添設材による補強の状況

斜材の破断が発生した国道23号木曾川大橋(三重県木曾岬町)

- 平成19年度は、特定重要港湾名古屋港と四日市港を結ぶ国道1号・23号の内、特に老朽化が著しい橋梁について、緊急補強工事を実施。
- 平成20年度は、管内の老朽化が進行する橋梁において、耐震対策も含めた補修・補強を実施するとともに、主要路線・区間においては集中的に補修・補強を実施するリフレッシュ工事に本格的に着手。損傷度合いの大きい橋梁は今後3年間で、その他の橋梁も今後5年間で対策完了を目指す。
- また、新潟県中越沖地震でも社会経済活動の継続が大きな課題となっており、耐震対策済橋梁の情報公開等を通じて企業活動の支援を推進。

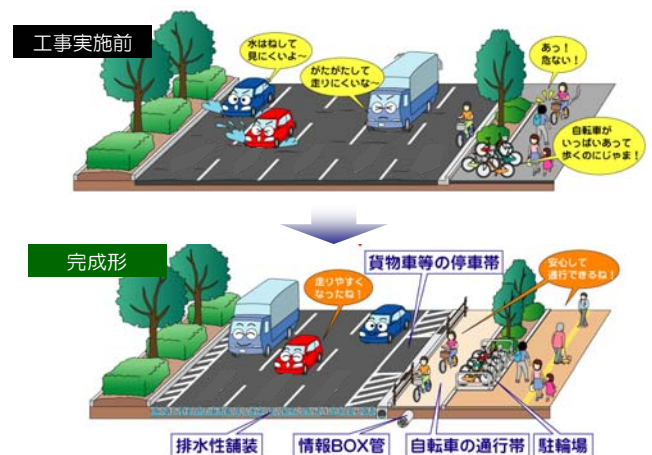
### II. 安全・安心な道路空間の形成～交通事故対策の推進！

- 交通死傷事故が多発している「事故危険箇所」を新たに抽出し、事故対策を推進。愛知県においては、交通事故死者数全国ワースト1返上を目的に、交通事故が増加している名古屋・尾張地区を重点に事故対策を実施。その際、ヒヤリ・ハット情報など、道路利用者からの情報提供を加味し、より国民の生活実感に沿った対策を推進。



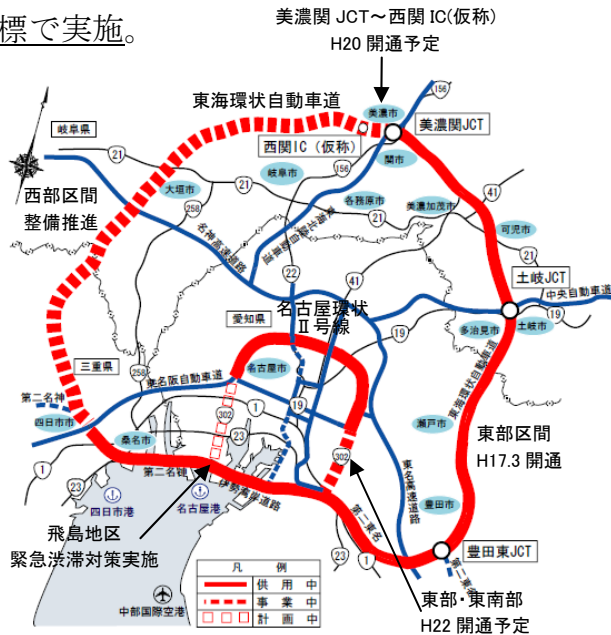
国道23号岡崎バイパス H18対策完了

- 自転車・歩行者が安全に安心して通行できる環境に見直していく必要があるため、道路管理者と警察庁が連携し、自転車走行環境の整備についての取組を開始。



### Ⅲ. 中部のモノづくりを支える道路ネットワーク整備！

- ・国際物流基幹ネットワークを構成する名古屋圏環状道路（東海環状自動車道、名古屋環状Ⅱ号線）の整備推進。
- ・東海環状自動車道は、東部区間に引き続き、地域振興・発展のため、西部区間の早期開通に向けた整備を推進。美濃関JCT～西関IC(仮称)間は、平成20年度開通予定。
- ・名古屋環状Ⅱ号線は、東部・東南部区間の平成22年度開通に向けた整備を推進するとともに、名古屋港の玄関口である飛島地区（桜木大橋北交差点）の緊急渋滞対策を今年度部分完成目標で実施。



東海環状自動車道

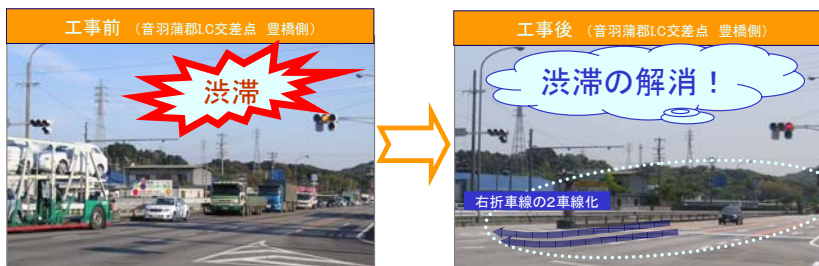


飛島地区(桜木大橋北交差点) 名古屋環状Ⅱ号線

- ・環伊勢湾地域の諸都市と港湾・空港を連絡する一般国道23号名豊道路及び中勢道路は、早期の全線開通に向け全面的に事業を展開。
- ・高規格幹線道路のアクセス道路整備として、国道473号岡崎額田バイパス（第二東名アクセス）等の整備を推進。

### Ⅳ. 効果の高い事業を重点投資、早期の効果発現を促す短期施策を積極展開！

- ・効果の高い事業を選択し、供用目標を定めて重点的に投資・進捗管理するとともに、地域の課題に迅速に対応するべく早期に効果発現する短期施策を積極的に実施。
- ・踏切事故や交通渋滞の大きな原因となっている踏切対策のスピードアップを着実に実施。
- ・一般国道1号音羽蒲郡IC交差点では、慢性的な渋滞等の対策として右折車線の増設（1車線→2車線）を今年6月に実施。ピーク時の渋滞は解消。
- ・一般国道19号恵中拡幅区間では、拡幅事業と並行して主要渋滞ポイント（雀子ヶ根交差点）の渋滞緩和に向けた短期対策を平成20年度完成目標で実施。



一般国道1号音羽蒲郡IC交差点(H19.6対策完了)